

## 中国の記事から（畜産）

---

2006年8月31日号

### 目次

◎亜硝酸塩含有量オーバーで米国からの粉ミルク10万kgを返品処分

【経済日報 2006年08月24日】

◎本土から香港へ冷蔵豚肉を輸出

【国際商報 2006年08月25日】

◎蘭DSM社、山東の飼料添加剤メーカーが本格生産開始

【中国化工報 2006年08月25日】

---

◎亜硝酸塩含有量オーバーで米国からの粉ミルク10万kgを返品処分

【経済日報 2006年08月24日】

国家質量監督検疫総局(国家質検総局。製品品質を管理する。)は、先ごろ、7月中旬以降北京検疫検疫局はアメリカから輸入された10万kgの粉ミルクを返品処分にしたと発表した。これら粉ミルクは国内業者がアメリカから3回にわたって輸入したもので、輸入額は約20万ドル。亜硝酸塩の含有量が基準をオーバーしたため返品処分とされた。国の関連規定によると、粉ミルク1kgあたりの亜硝酸塩は最高2mgとされているが、返品処分となった製品は1回目2.8mg、2回目4.4mg、3回目2.7mgが含まれていた。国家質検総局はこれを受け、全国の検疫部門に対して輸入粉ミルクの亜硝酸塩検査を強化するよう指示している。

---

◎本土から香港へ冷蔵豚肉を輸出

【国際商報 2006年08月25日】

香港政府は、8月15日に中国本土側の香港向け冷蔵豚肉の輸出申請を受理、広東省産の冷蔵豚肉(計150頭分)が23日、香港に輸入された。広東検疫検疫局(製品品質を管理する。)が明らかにした。この豚肉はと畜後の肉を24時間内に0~4度に冷蔵、その後の加工もこの温度下で行ったもので、微生物の繁殖が抑えられ、栄養価の損失も少ないのが特長である。このタイプの豚肉の香港向け輸出は初めてであり、1日あたり最高150頭分の輸出が認められている。国は2

002年にこのタイプの豚肉の輸出割当を取り消し、広東省ではその後2年間で加工工場8カ所が建設された。広東検験検疫局もこれら加工工場建設を支援し、特に香港向けに輸出する工場には職員を派遣し工場の衛生状況などを監督している。

---

**◎蘭DSM社、山東の飼料添加剤メーカーが本格生産開始**

**【中国化工報 2006年08月25日】**

オランダDSM社(帝斯曼)が山東省で設立した飼料添加剤メーカー・帝斯曼維生素(山東)有限公司が22日、本格生産を始めた。同公司是聊城市經濟開發区にて420万ドルを投じて設立したもの。DSM社が中国で飼料添加剤メーカーを設立するのは帝斯曼維生素(上海)有限公司に次いで2社目。DSM社の世界統一基準に基づき生産、ビタミンなど飼料添加剤の生産能力は年間1万5千トンに達する。製品は華北地区、東北地区を中心に供給していく。DSM社の中国での年間売上は5億ユーロ、従業員は約3500人に達する。

本情報は、株式会社日本能率協会総合研究所により  
翻訳された中国の新聞記事をもとに、同社の許可を得て  
独立行政法人農畜産業振興機構が整理したものです。